

2026年 8 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年 7 月13日

上 場 会 社 名 フェスタリアホールディングス株式会社 上場取引所 東
コ ー ド 番 号 2736 URL https://www.festaria.jp/
代 表 者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 貞松 隆弥
問合せ先責任者 （役職名） 常務取締役 （氏名） 姉川 清司 （TEL） 03-6633-6869
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年 8 月期第 3 四半期の連結業績（2025年 9 月 1 日～2026年 5 月31日）

（1）連結経営成績（累計） （％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年 8 月期第 3 四半期	7,483	8.9	87	△41.3	95	△45.6	21	△81.7
2025年 8 月期第 3 四半期	6,873	2.7	149	21.8	175	62.1	117	72.5

（注）包括利益 2026年 8 月期第 3 四半期 68百万円（ △31.3％） 2025年 8 月期第 3 四半期 99百万円（ 34.8％）

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年 8 月期第 3 四半期	6.03	5.73
2025年 8 月期第 3 四半期	33.02	31.49

当社は、2025年 3 月 1 日付で普通株式 1 株につき、3 株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1 株当たり中間純利益」及び「潜在株式調整後 1 株当たり中間純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年 8 月期第 3 四半期	8,164	1,714	20.5
2025年 8 月期	7,189	1,664	22.6

（参考）自己資本 2026年 8 月期第 3 四半期 1,676百万円 2025年 8 月期 1,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年 8 月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2026年 8 月期	—	0.00	—		
2026年 8 月期（予想）				7.00	7.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 8 月期の連結業績予想（2025年 9 月 1 日～2026年 8 月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	10,100	7.4	330	14.0	260	△8.7	160	△9.3

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年8月期3Q	3,632,700株	2025年8月期	3,630,600株
2026年8月期3Q	48,849株	2025年8月期	59,049株
2026年8月期3Q	3,577,515株	2025年8月期3Q	3,563,823株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注）当社は、2025年3月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあつての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年9月1日～2026年5月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、全体として緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、円安基調の継続やエネルギー・原材料価格の高止まりに伴う物価上昇が個人消費の下押し要因となったほか、中東情勢をはじめとする地政学リスクの高まりや米国の通商政策の動向、金融資本市場の変動など、国内外の不確実性は依然として高く、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する宝飾業界におきましては、インバウンド需要や富裕層を中心とした高額品需要が引き続き底堅く推移した一方で、物価上昇の長期化による生活防衛意識の高まりや消費の二極化が進行し、購買行動は慎重さを増しております。また、金・プラチナをはじめとする地金価格の高騰に加え、人件費や物流費等の上昇が収益を圧迫するなど、引き続き厳しい事業環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、ジュエリーを通じて人と人の絆を深め、世代を超えて受け継がれる価値を届けることを使命とする企業理念「ビジュドファミリー（家族の宝石）」の実現に向け、「精神価値No.1のSPA企業」から「想いを未来につなぐコミュニティ企業」への変革を掲げた中期経営計画「festaria 2030」を推進しております。2026年8月期はその初年度として、「戦略的人材育成による組織力向上」「強みを活かしたCRMの深化・実践」「コミュニティ基盤を支えるDXの推進」を重点方針とし、グループ一体となって取り組んでおります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の国内事業は、店舗売上高が大型催事において天候不順の影響を受けたものの、“Wish upon a star”を中心としたブライダル関連商品の拡大に加え、定番商品や地金商品の販売が堅調に推移したことから、前年同期比8.0%の増収となりました。また、店舗人材の採用・育成強化およびCRM戦略の推進により、一人当たり売上高は前年同期比6.2%増と伸びました。

店舗政策では、当第3四半期累計期間に国内6店舗を出店、3店舗を閉店した結果、国内店舗数は前年同期末比3店舗増の78店舗となりました。

ECビジネスでは、OMO戦略支援ツール「スタッフDX」の活用に加え、他社モールでの販売が好調に推移したことから、EC売上高は前年同期比46.7%増となりました。また、2026年5月には基幹ブランド「festaria bijou SOPHIA」の20周年を記念し、ファッションEC「ZOZOTOWN」へ新規出店いたしました。

富裕層ビジネスでは、資産性・希少性を軸とした商品提案に加え、百貨店外商イベントや金融機関ウェルスマネジメント部門との連携を通じて顧客基盤の拡充を進めました。

売上総利益は、第3四半期連結累計期間平均において金価格が前年同期比63.4%、プラチナ価格が同104.8%上昇するなど、原材料価格の高騰により売上原価が上昇し、売上総利益率は1.85ポイント低下したものの、増収効果により前年同期比5.7%増となりました。

原材料価格の上昇を見据え、前期末に金素材を戦略的に調達したことで、金価格上昇による原価への影響は一定程度抑制することができました。一方で、好調なブライダル商品の主原材料であるプラチナ素材を十分に確保できなかったことや、価格改定を適時に実施できなかったことが、売上総利益率の低下要因となりました。

販売費及び一般管理費は、人材確保・定着に向けた施策の強化に伴う人件費の増加に加え、催事強化や各種販促施策の拡充による販売費の増加、新基幹システム導入に向けた外注費の増加等により、前年同期比7.4%の増加となりました。

海外事業では、台湾子会社において売上は堅調に推移したものの、原材料価格高騰による売上総利益率の低下および成長投資の増加により、増収減益となりました。

ベトナム子会社D&Q JEWELLRY Co., Ltdでは、品質向上への継続的な取り組みにより、伊勢丹との共同開発コレクションの実績も背景として外部受注が順調に推移しております。また、2026年5月には創業20周年を迎え、現地ハイフォン市にて記念式典を開催いたしました。

今後は、新基幹システムを活用したサプライチェーンマネジメントの高度化により、生産リードタイムの短縮や在庫最適化を進め、SPAモデルの競争力向上と収益性改善を図ってまいります。なお、新基幹システムにつきましては、2026年度中の稼働に向けて開発・検証を進めており、安定稼働に向けた最終準備を進めております。

また、原材料価格の急激な高騰や原材料の調達、価格改定のタイミングが収益性に大きく影響したことに加え、インフレ環境の定着を踏まえ、地金（インゴット）を価格変動リスクに対応する戦略資産として位置付け、安定調達と収益性の向上を両立する調達体制への転換を進めております。あわせて、営業キャッシュ・フローやフリー・キャッシュ・フローに加え、インゴットを時価評価した当社独自の「実質CF」を新たな経営指標として導入し、キ

キャッシュ創出力および資本効率の向上に取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高7,483百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益87百万円（前年同期比41.3%減）、経常利益95百万円（前年同期比45.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益21百万円（前年同期比81.7%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べて975百万円（13.6%）増加して、8,164百万円となりました。これは主に、原材料及び貯蔵品が388百万円、現金及び預金が182百万円、商品及び製品が176百万円、無形固定資産が78百万円、有形固定資産が57百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債の部は、前連結会計年度末に比べて925百万円（16.7%）増加して、6,450百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が350百万円減少しているものの、借入金が1,236百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部は、前連結会計年度末に比べ50百万円（3.0%）増加して、1,714百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が48百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は20.5%となり、前連結会計年度末に比べ2.1ポイント減少いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期の業績予想につきましては、2025年10月14日の「2025年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました通期の業績予想を据え置くことといたしますが、今後の業績動向に応じて、業績予想に修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,143,341	1,326,167
売掛金	883,332	891,797
商品及び製品	2,652,554	2,828,600
原材料及び貯蔵品	902,344	1,291,304
その他	81,808	176,579
貸倒引当金	△650	△729
流動資産合計	5,662,730	6,513,719
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,305,342	1,402,917
減価償却累計額	△868,561	△959,479
減損損失累計額	△106,183	△92,820
建物及び構築物（純額）	330,597	350,617
機械装置及び運搬具	129,152	144,850
減価償却累計額	△119,817	△133,802
機械装置及び運搬具（純額）	9,335	11,047
工具、器具及び備品	254,886	297,788
減価償却累計額	△211,420	△228,483
減損損失累計額	△3,452	△3,452
工具、器具及び備品（純額）	40,014	65,852
土地	30,000	30,000
リース資産	408,295	427,948
減価償却累計額	△361,260	△371,330
減損損失累計額	△19,972	△19,972
リース資産（純額）	27,063	36,645
有形固定資産合計	437,009	494,163
無形固定資産	229,890	308,523
投資その他の資産		
投資有価証券	92,276	95,654
繰延税金資産	258,365	258,891
差入保証金	376,096	353,895
その他	141,863	149,080
貸倒引当金	△8,902	△9,364
投資その他の資産合計	859,700	848,157
固定資産合計	1,526,600	1,650,844
資産合計	7,189,331	8,164,564

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	629,724	279,212
短期借入金	1,650,000	2,900,000
1年内返済予定の長期借入金	858,518	340,578
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払金及び未払費用	510,499	614,257
未払法人税等	12,765	—
前受金	268,005	350,144
リース債務	661	4,999
賞与引当金	87,731	49,395
契約負債	23,121	31,142
その他	177,792	72,920
流動負債合計	4,238,819	4,662,651
固定負債		
社債	30,000	10,000
長期借入金	768,165	1,272,638
リース債務	2,017	17,133
退職給付に係る負債	296,895	317,768
資産除去債務	9,209	9,227
その他	179,991	160,863
固定負債合計	1,286,277	1,787,631
負債合計	5,525,097	6,450,283
純資産の部		
株主資本		
資本金	812,522	812,872
資本剰余金	620,721	622,603
利益剰余金	131,703	128,273
自己株式	△25,909	△21,433
株主資本合計	1,539,038	1,542,316
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,243	9,463
為替換算調整勘定	74,724	123,354
退職給付に係る調整累計額	5,408	1,161
その他の包括利益累計額合計	87,375	133,979
新株予約権	37,820	37,985
純資産合計	1,664,234	1,714,281
負債純資産合計	7,189,331	8,164,564

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
売上高	6,873,526	7,483,016
売上原価	2,587,323	2,955,733
売上総利益	4,286,203	4,527,283
販売費及び一般管理費	4,136,783	4,439,634
営業利益	149,419	87,648
営業外収益		
受取利息	2,485	3,543
為替差益	47,028	94,811
補助金収入	56,454	—
その他	757	660
営業外収益合計	106,725	99,015
営業外費用		
支払利息	69,523	75,234
社債利息	249	166
その他	11,285	15,936
営業外費用合計	81,059	91,337
経常利益	175,086	95,325
固定資産除却損	612	—
特別損失合計	612	—
税金等調整前四半期純利益	174,473	95,325
法人税、住民税及び事業税	9,868	10,341
過年度法人税等	—	63,109
法人税等調整額	46,929	302
法人税等合計	56,798	73,754
四半期純利益	117,675	21,571
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	117,675	21,571

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	117,675	21,571
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	351	2,220
為替換算調整勘定	△16,894	48,629
退職給付に係る調整額	△1,946	△4,247
その他の包括利益合計	△18,488	46,603
四半期包括利益	99,186	68,174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	99,186	68,174
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)

当社グループは、宝飾、眼鏡、時計の製造及び販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	132,163 千円	152,611 千円